

JIS

自動車用タイヤの ユニフォーミティ試験方法

JIS D 4233 : 2001

(JSAE/JSA)

(2006 確認)

平成 13 年 4 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、社団法人自動車技術会(JSAE)/財団法人日本規格協会(JSA)から、団体規格(JASO C 607-1987)を元に作成した工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との整合を図るためISO/FDIS 13326 : 1998, Test method for measuring tyre uniformityを基礎として用いた。

この規格には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) 荷重の付随条件

附属書2(参考) JISと対応する国際規格との対比表

主務大臣：経済産業大臣 制定：平成 13. 4. 20

官報公示：平成 13. 4. 20

原案作成者：社団法人自動車技術会（〒102-0076 東京都千代田区五番町10-2五番町センタービル：TEL. 03-3262-8216）

財団法人日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24：TEL. 03-5770-1573）

審議部会：日本工業標準調査会 自動車・航空部会（部会長 加藤 伸一）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1：TEL. 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車用タイヤの
ユニフォーミティ試験方法

D 4233 : 2001

Test procedures for automobile tire uniformity

序文 この規格は、1998年に発行されたISO/FDIS 13326, Test method for measuring tyre uniformityを翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、原国際規格の規定項目又は規定内容の削除、原国際規格にない規定項目又は規定内容を追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、二輪自動車用タイヤ、乗用車用タイヤ、軽トラック用タイヤ及び小形トラック用タイヤ、並びにトラック及びバス用タイヤのユニフォーミティ試験方法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT(一致している)、MOD(修正している)、NEQ(同等でない)とする。

ISO/FDIS 13326 : 1998, Test method for measuring tyre uniformity (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS C 1304 工業プロセス計測制御機器の使用環境条件

備考 IEC 60654-1 : 1993, Industrial-process measurement and control equipment—Operating conditions—Part 1: Climatic conditionsからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS D 4202 自動車用タイヤ—呼び方及び諸元

JIS D 4203 モータサイクル用タイヤ—呼び方及び諸元

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

a) **ユニフォーミティ (uniformity)** タイヤ特性の周上での静的及び動的均一性。

備考 広義にはタイヤ諸特性の周上での均一性と規定されるが、質量分布(アンバランス)、寸度(振れ)及び回転中の力の変動に関するものとし、この規格では力の変動に関する試験方法だけを規定する。

座標系は、付図1による。

b) **一次成分** 変動波形のフーリエ変換の基本振動数成分の両振幅。

c) **高次成分** 変動波形のフーリエ変換の高次振動数成分の両振幅。

d) **ラジアルフォースバリエーション (radial force variation)** 荷重を受けているタイヤが、一定の半径で1回転する間に発生するタイヤ半径方向(Z軸方向)の力の変動の大きさ(以下、RFVで表す。)

e) **ラテラルフォースバリエーション (lateral force variation)** 荷重を受けているタイヤが、一定の半径で1回転する間に発生するタイヤ横方向(Y軸方向)の力の変動の大きさ(以下、LFVで表す。)

f) **ラテラルフォースデビエーション又はラテラルフォースオフセット (lateral force deviation, lateral force offset)** 荷重を受けているタイヤが、一定の半径で1回転する間に発生するタイヤ横方向(Y軸方向)の力の平均値(以下、